



3月9日扇町公園 本集会

三月九日扇町公園に七〇〇〇人の人が原発廃止を求めて集まりました。港合同ももちろんその中に。今回は参加者が一堂に介せるよう昨年の中之島公園ではなく扇町公園での開催となりました。



# 3・9関西行動に7000人

## さよなら原発

午前部では、隣接する北区民センターホールで特別報告を福島原発訴訟事務局の地脇美和さんと原子力発電に反対する福井県民会議事務局長の水上賢一さん、講演は

京都大学原子炉実験所助教の小出裕章さんが「子どもたちを放射能から守るために」と題して行いました。聞いた人の話によると開演を知らせる太鼓演奏を含めとてもいい企画だったそうです。午後の本集会では午前

会と子どもたちが、自分たちが作った横断幕を披露して「ぼくらはみんないきている」を歌ってくれました。そのあと、集会決議案を拍手で承認してデモに出ました。

デモは天六経由コース、西梅田コース、市役所コースに別れ、私たちは市役所コースでした。市役所で解散後、私は関西電力本店前まで二〇分ほど歩いて関電前の抗議行動にも参加しました。歌いながら自転車を漕いで電気をおこし電球を灯している人がいたり、



3月9日関電本店前

あちゃこさんという芸人さんが原発反対の歌を歌ったり若狭ネットの久保さんが関電交渉の報告をしたりとこちらも熱気のある行動でした。疲れましたがど充実した一日となりました。

アートアド分会・N

## さよなら原発3・9関西行動 本集会での 小出裕章さんの発言 — 非国民になってたかう

(京都大学原子炉実験所助教)

みなさんご承知のようにこの日本という国は数十年前まで戦争していました。アジアのたくさんの人々に災厄を加え、そして日本の国民もたくさんの苦難を負いながら、戦争をすすめました。結局日本は負けました。

でも国敗れて山河ありというという言葉がありますように、国家などが戦争に負けても大地はありました。大地があればそこで人々が生きられるということなんですけども、3年前に起きた福島第一発電所の事故で、今現在1000平方キロメートルという地域、びわ湖が1.5個も入ってしまう地域が、無人になってしまいました。土地自身をなくしてしまうというようなことが、現在進行しています。その周辺にもおよそ14000平方キロメートルという広大な地域が、本来ならば放射線管理区域にしなければいけないほどの汚染を受けている。本当であればそこも無人にして、土地を失ってもしかたがないというほどの酷いことが現在起きています。

しかし、先日政権に返り咲いた自民党は今止まっている原子力発電所を再稼働させる、新たな原子力発電所もつくる、そして、原子力発電所を海外に輸出するということまで言っています。そのため彼らがやっていることは福島をなかったことにするということです。忘れさせてしまおうと彼らは作戦を練りながらやってきています。それに対向するのは唯一つだと私は思います。忘れないということ。私たちは決して忘れない。福島のことを忘れないということをやることが、彼らとたたかう唯一の方策だろうと思います。

今、自民党政権はオリンピックというようなことを押し出して福島事故が収束したかのように言っています。オリンピックに反対すると非国民であるかのような、そのような論調も生まれているように見えます。

しかし、福島の人たちを苦難のどん底に落としながら、なにがオリンピックなんだろうと、私は思います。こんな国であるなら私は喜んで非国民になって、たたかいたいと思います。私自身は決して福島のことを忘れないでいきたいと思ひますし、これだけのたくさんの方々が、福島のことを忘れないでいてくださるということに力をかけてまた、生きていきたいと思ひます。今日はありがとうございました。

